

1. 名称 Ciao Italia 60分耐久レース
2. 内容 60分耐久レース
3. 日時 2008年10月19日(日) 雨天決行
4. 会場 セントラルサーキット(国内公認レーシングコース・全長2,802km・右回り)兵庫県多可郡多可町中区坂本字草山521-1 TEL.0795-32-3766
5. 主催 Ciao Italia 開催実行委員会
6. 後援 イタリア総領事館、FM802
7. 特別協賛 フィアットグループオートモビلزジャパン株式会社
8. 特別協力 クラブ イブシロン
9. パートナー DIXCEL、NUTECH/interceptor、株式会社レイズ
10. 協賛 ビレリジャパン株式会社、Leica Camera Japan、イタリカジャパン、癒し太閤 ねねの湯
11. 協力 JIRON 自動車、Corso marche、ユニコルセエンジニアリング、GOO WORLD、セントラルサーキット
12. 開催レース(クラス)

60分耐久レース：最大6名までのドライバーでエントリー 参加費/一般：45,000円・会員：38,000円

●競技規則/

- 1) 登録されたドライバーは **15分以上ドライビング** してはならない。
- 2) ドライビング時間とは **コースインよりピットインまでの時間を15分** とする。
- 3) **上記1)・2)に準じた走行時に、何らかの理由により車両をPITインした時は、必ずドライバーチェンジをしなければならない。**

給油は自由であるが行う場合は各自で用意した携行缶(20ℓ)で、セントラルサーキットで販売されているガソリンを購入し使用すること。
支払方法は通常のセントラルサーキットでのガソリン購入方法とします。給油場所は各PIT前ワークレーンで行う方法もしくは、安全性を考慮しサーキットのガソリンスタンドでの給油とする。ガソリンスタンドで給油の際は38番PITより最徐行でパドックを走行し、サーキットガソリンスタンドへ向かうこと。給油後は38番PITよりピットロードへ進入すること。PIT前ワークレーンで給油を行う場合は、必ずメカニックもしくは他のドライバーが消火器を持ち、給油中は傍で消火体制をとること。

スタートは変則ル・マン方式とし、第1ドライバーが運転席に、その他のドライバーが対面にて待機。スタート合図と共に第1ドライバー以外のドライバーが車両に駆け寄りボンネットをタッチ、車内で待機している第1ドライバーはタッチを確認後エンジンをかけスタートする。

チェッカーは55分00秒時点での先頭車両に振られ、その後全ての車両にチェッカーが振られる。

チェッカーを受けた車両は追い越し禁止で1周走行後(クールダウン)ピット入口よりピットもしくはパドックへ戻ること。

●クラス分け/

- アルファロメオによるレース ・アルファ - 1・アルファ - 2・アルファ - 3・アルファ - 4
- ランチアデルタによるレース ・ランチア
- 1974年までにイタリアで製作された車両によるレース ・クラシック - P・クラシック - S
- イタリアで製作された車両によるレース ・イタリアン - 1・イタリアン - 2・イタリアン - 3

13. ペナルティ 上記12.の競技規則項目に違反した者にペナルティを与える。 1回の走行時間が15分を超えた場合、1回につき1周減算とする。 その他のペナルティは公式通知・ブリーフィングにて発表する。
14. 競技番号(ゼッケン) 参加車両は競技番号を付けなければならない。競技番号は主催者が決定・用意する。
15. ピット関係 参加者にはピットが割り当てられる。参加者は各自のピットに対して責任者を定めなければならない。ピットクルーはピット責任者を含め、参加車両1台に満18歳以上のもの最低1名最大5名までとする。
16. ドライバーズ・ブリーフィング

出場ドライバーはタイムスケジュール(公式通知)に示された時間前にブリーフィング会場へ集合、出席しなければならない。これに遅刻・欠席した場合はペナルティを与える場合がある。

17. 公式予選 公式車両検査に合格しない車両は出場できない。
公式予選の義務周回数は1周以上とし、周回のうちの最高ラップタイムによってスタート順位を決定する。
公式予選時間は10分間とする。
公式予選のドライバーは参加登録ドライバーのいずれかとする。

18. 反則スタート 公式予選の義務周回数に満たない場合は、競技長の判断により最後尾スタートを与えることがある。
スタート合図以前に所定の位置から前進したと競技役員によって判定された場合は反則スタートとなりこれに対する抗議は受け付けられない。
反則スタートしたドライバーに対し、黒旗と白数字(該当車両のゼッケン番号)で知らせ、罰則として該当車両は1回のピットインが課せられる。この場合一旦指定のペナルティエリア(コントロールタワー前)ピットに停止した後、エンジンを停止し競技役員の指示により再びレースに復帰することができる。

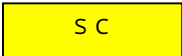
19. 燃料 最初の燃料は一般に市販されているものならば銘柄は自由とする。それ以外はセントラルサーキット内の燃料とする。
20. 信号機、合図 国際モータースポーツ競技規則付則H項に定められた信号合図を、JAFに承認された手順、方法により行う。コース上にはメインフラッグポストを含み16の監視ポストがあり、その各々に電気式の信号機が設置されており、下記の信号はその信号機により提示される。

- a. 黄旗 ・1本の静止  黄色点灯 ・1本の振動  黄色点滅
- ・2本の振動  黄色点滅  交互点滅

- b. 赤黄(オイル)  黄赤縦縞点灯

- c. 赤  全ポスト 赤点灯

- d. 緑  全ポスト 緑点灯

- e. セーフティカー  全ポスト 黄に黒字

- f. 黒旗及びオレンジボールはメインフラッグポストで旗を提示するが当該車両の競技ゼッケンは、ポスト下にある信号機にて表示される。

- g. ピット入口にあるウェイトリングエリアは、赤または緑の点灯にて表示するのでその指示に従うこと。

- h. ピット出口の信号はシグナリングプラットホーム先端にあり、赤・緑の点灯または黄色の点滅により表意する。スタートの手順の合図はコントロールライン上のオーバーブリッジに取り付けられた大型の信号機により全て表示される。表示内容は以下の通り。

3min: スタート3分前(10秒間表示) 1min: スタート1分前(10秒間表示) 30sec: スタート30秒前(10秒間表示)

5sec: スタート5秒前(10秒間表示) 赤点灯: スタート準備 赤消灯: スタート

START DELAYED: スタート遅延 赤地に10: スタート遅延を10分延長 緑地に10: 5分後に3分前の手順開始

信号機で表示する合図以外は旗またはボードにて表示する。追い越し禁止・減速等は信号機の位置が基準となる。それらの行為は、信号機の位置で完全に完了していなければならない。

赤旗が提示された場合、すべてのドライバーはただちにレースを中止し、細心の注意を払い、必要に応じて停車できる態勢で、原則としてメインストレート入口のレッドラインまで進行すること。

オレンジ色の円形のある黒旗(通称...オレンジボール)、または黒旗と競技番号を提示された車両のドライバーは、次の周回に自己のピットに戻り、停止

しなければならない。提示された競技番号のビットにもビットインの指示を示すよう通知する。指示に従わないドライバーに対し審査委員会の決定により罰則を与えることがある。

レースを非競技化する為にセーフティカーを使用する場合がある。セーフティカーが配備される際には、全てのポストで SC のサインが表示される。セーフティカーは基本的に先頭車両の前に配備されるが、やむを得ず先頭車両とセーフティカーの間に周回遅の車両が存在する場合は、周回遅の車両のみセーフティカーを追い越すことが出来る。セーフティカーは通常オレンジライトを点灯させながら走行しているが、追い越し可能な場合にのみ、グリーンライトを点灯させる。

21. 停車指示 レース続行が競技長により危険とみなされるドライバー、車両についてビットインを命ずるか、レースから除外されることがある。この決定に対する抗議は受け付けられない。
技術委員長は参加車両に対して、いついかなるときでも安全を確認するためビットインを命じ、再車検を行なうことができる。これに対する抗議は受け付けられない。
22. ビットレーンへの進入 ビットへ出入りする際に通過するコース上の一部をビットレーンとして、ガードレールおよびイエローラインの区分線でレースの走路と区分する。この区分は、いかなる場合でも横切ってはならない。横切った場合は罰則を与える場合がある。
ビットレーンに進入する場合は、バックストレッチのイン側を沿って走行し、ビットロード入り口手前から歩行指示器あるいは手で合図をして安全を確認し、安全な速度まで減速し進行しなければならない。
23. ビットストップ ビットロードに入った車両は、一旦正しく自己のビット前に停止し、エンジンは停止しなければならない。この時、安全確認のため、ビットクルーの1名は必ず誘導を行なうこと。
誤って自己のビットを通り過ぎてしまった場合は、エンジンを止め、ビット審判員の了解を得てから、ビットクルーの手によってのみ自己のビットへ押し戻すことが出来る。自らの動力で後退した場合ただちにレースより除外される。
24. ビット作業 ビットインした車両に対しては登録されたビットクルーを、そのドライバーのみがビット区域で作業することができる。
ビット責任者またはビットクルーの1名は、ビット作業ならびに車両の出入りについて監督誘導を行なわなければならない。
ビット内は自己の所属するビット以外のビットに入ることを禁止する。また、喫煙等の火気は一切禁止され、消化器、機材の保全とともにすべての管理は当該ビット責任者が当たらなければならない。
工具、部品などは予めビット前に置いてはいけない。
走行中のドライバーに対して、ビットサインを送ることができるのはビットクルーの1名とし、その位置は自己のビット前のコンクリートフェンス内に限られる。
25. ビットアウト エンジン始動は必ずドライバーが車両に着座してから行なうこと。ビットから再スタートしコースに戻る場合は、競技役員の指示に従いビットクルーの誘導の下に行なうこと。
ビットアウトする際ビットレーンの走行は、安全上ビットエンドまで安全な速度で走行し、加速することを禁止する。
26. レース中の車両修理 レース中の車両修理、調整、部品交換はその車に積み込んであるものか、ビットに準備した部品と工具によって行なわなければならない。
ビットに準備してある工具による作業は、正規にビットインした車両のみに対して行うことができる。コース上で停止した場合、ドライバー自身がビットが部品や工具を携行したり、あるいはビットクルーや他の者が携行したりしてはならない。また、コース上のドライバーに対していかなる援助も禁止され、競技役員以外のものが停車した車両に触れることは許されない。これに対する違反者はただちにレースから除外される。
やむを得ない事情でビット以外のコース上で車両を修理、部品交換或いは危険部分の除去を行なう場合は、他の車両の支障にならない安全な場所に停車し、搭乗ドライバーが車に積み込んである工具、部品によってのみ作業をしなければならない。
レース中の車両はいかなる場合でもその車の動力で推進されなければならない。したがって人力あるいは他の車両の力によって押し進めたり、決勝ラインを超えてはならない。ただし、ドライバーまたは競技役員によってコースから安全な場所に押し出す場合はこの限りではなし。
27. 妨害行為 レース中及びビット作業中にドライバーおよびビットクルーは、他の競技車の妨害をしてはならない。審判員によって妨害行為と判定された場合は、審査委員会の決定により罰則が課せられる。この判定に対する抗議は受け付けない。
28. 棄権 レース中の事故あるいは車両故障などでその後、競技続行が不可能になった場合は、原則として自己のビットに停車し、その旨を競技役員に届けなければならない。
コース上において走行不能となり棄権する場合は、安全な場所に停車した後、30秒間手を上げて管制官に知らせる事。
リタイア届はドライバーが署名することを原則とする。
29. 競技終了 チェッカーは55分00秒時点での先頭車両に振られ、その後全ての車両にチェッカーが振られる。
チェッカーを受けた車両は追い越し禁止で1周走行後（クールダウン）ビット入口よりビットもしくはパドックへ戻ること。
万一先頭を走行する車両が、規定の距離を完走しないうちに誤ってチェッカーが振られた場合であっても、その競技はその時点で終了したものとして順位が判定される。
優勝者の順位決定は、周回数の決勝線の通過順位に基づいて行われる。競技が中断した場合、最終周回までの結果により順位を判定する。
先頭車が決勝線を通過と同時に、そのレースは終了したものとす。なお、先頭車が決勝線を通過後3分以内に決勝走行は終了する。決勝線延長上であっても、ビットロードは決勝線に含まれない。
事故その他の不可抗力により、規定のレース距離に達せず中止になった場合は以下のように判定する場合がある。
2周以内 大会組織委員会と競技審査委員会の協議により再レース等の決定をし、参加者に通知される。
2周以上50%以下 ... 大会組織委員会と競技審査委員会の協議によりレースの成立を認める場合がある。
50%以上 自動的にそのレースは成立したものとす。
30. 抗議 参加者は、自分が不当に処遇されていると判断した場合、これに対し抗議する権利を有する。ただし、本特別規則書に規定された出場参加拒否または審判員の決定に対する抗議はできない。
抗議は文書（書式は自由、常識の範囲内で作成）によっておこない、抗議料として1件につき20,300円を添え、競技長あて、大会事務局へ各抗議の制限時間内に提出されなければならない。
参加車両に対する抗議書は、抗議対象となる箇所、事項を明確に記載されていなければならない。抗議が否決された場合は抗議提出者、抗議が成立した場合には抗議対象者が支払うものとする。車両の分解整備等の費用は技術委員長が算定する。
役員についている競技役員は、たとえ抗議が提出されている場合であっても、それと関係なく自分の権限と義務を執行することが出来る。
31. 抗議の制限 車両またはドライバーの参加資格に対する抗議は、その車両の当該レーススタート1時間前までとする。
車両検査に対する抗議は、決定直後に提出されなければならない。
公式予選の結果およびスタート位置に対する抗議は、結果発表後15分以内に提出されなければならない。
競技中の過失または反則に関する抗議は、競技運転者がゴール後15分以内に提出されなければならない。
32. 抗議の裁定 レース結果に対する抗議は、そのクラスの暫定結果発表後15分以内に提出しなければならない。
抗議審査に当たり審査委員会が必要に応じ、関係当事者および競技役員を証人として召還し、陳述を高めることができる。
審査後ただちに裁定が下されない場合、その裁定の発表の日時と場所を明らかにして裁定発表を延期することができる。
審査委員会の裁定結果は審査委員長により、関係当事者（代表責任者1人）のみに口頭をもって通知される。
33. 競技会の延期、中止に関する事項 本競技会は保安上、不可抗力の理由（審査委員会の決定による）以外に延期あるいは中止することはない。
34. 賞典 総合1～3位 楯 各クラス 1～3位 楯・副賞
35. 賞典の制限 賞典はを参加台数の1/2までとする。（小数点以下切り捨て）
36. 損害の補償 参加者、ドライバーはその参加車両および付属品、ならびにレース施設、機材、器具に対し、自己の行為によって生じた損害の補償の責任を負うものとする。
参加者、ドライバー、ビットクルーは、コース所有者、オーガナイザーおよび大会役員が、一切の損害補償の責任を免除されていることを承認していなくてはならない。
37. 本規則の解釈 本規則並びに競技の規則に関する質疑は、大会事務局あてに質疑申し立てができる。その回答は審査委員会の決定を最終的なものとして示される。
38. 本規則の違反 本規則に対する違反の裁定は審判員が行い、審査委員会において裁定し宣言され、出場停止、失格処分、周回数の減算またはビットストップ、訓戒、罰金を罰則基準表に基づき執行される。
ドライバーまたは車両に対するタイムペナルティ、あるいは失格についての決定は審査委員会によりなされ、競技長を経て当該参加者に通知される。
39. 公式通知 本規則に記載されていない競技運営に関する実施内容、参加者に対する指示内容は公式通知によって示す。

Ciao Italia 60h race / Champion Race / Freshman Race 車両規定

Ciao Italia 60h race / Champion Race 車両規定		イタリアンヒストリックカーチャンピオンレース・アルファロメオレースは別途車両規定参照	
No	内容	デルタ・イタリアン・クラシックカー P	S
1	エンジン	一般車検に通るものであること	—
2	エンジンECU	ロムの交換のみ可	自由
3	インジェクター	保安基準適合品であれば可	自由
4	INマニホールド	保安基準適合品であれば可	自由
5	EXマニホールド	保安基準適合品であれば可	自由
6	マフラー	保安基準適合品であれば可	自由
7	点火系	交換可	自由
8	クラッチ	交換可	自由
9	トランスミッション	純正部品に限り交換可	自由
10	ディファレンシャルギア	交換可	←
11	ブレーキ系	保安基準適合品であれば可	自由
12	足廻り	保安基準適合品であれば可	自由
13	ホイール	交換可	自由
14	タイヤ	<u>Sタイヤ可</u>	←
15	シートベルト	4点式以上の装着が望ましい	←
16	内装	ガラスの交換不可	自由
17	ステアリング	35センチ以上あれば可	←
18	ロールバー	装着が望ましい	←
19	エアロパーツ	車検証のサイズを超えなければ可	←

アルファロメオレース 車両規定				
	クラス1	クラス2	クラス3	クラス4
スタート方式	グリッドスタート	グリッドスタート	グリッドスタート	グリッドスタート
車両(アルファロメオ)	セントラル 1分35秒以下	下記参照	下記参照	下記参照
内装撤去(軽量化)	自由	←	←	←
エアロパーツ	自由	←	←	←
ボンネット	自由	←	←	←
トランク	自由	←	←	←
ガラス	自由	交換不可	←	←
ロールケージ	4点式以上	装着を推奨	←	←
シートベルト	4点式以上装着	4点式以上を推奨	←	←
シート	自由	←	←	←
消火器	装着を推奨	←	←	←
マフラー	自由	←	←	←
エンジン	自由	ノーマル(注2)	←	←
コンピューター	自由	交換不可(注3)	←	←
吸気	自由	←	←	←
オイルキャッチタンク	装着のこと	←	←	←
バッテリー	自由	←	←	←
ブレーキ	自由	←	←	←
タイヤ	Sタイヤまで装着可能	←	←	←
ホイール	自由	←	←	←
スプリング	自由	←	←	←
ショックアブソーバー	自由	←	←	←
アッパーマウント	自由	←	←	←
スタビライザー	自由	←	←	←
デファレンシャルギア	自由	←	←	←
ファイナルギア	自由	交換不可	←	←(注4)
クロスミッション	自由	交換不可	←	←(注4)

クラス1 = 車種: 不問(セントラルサーキットで1分35秒以下で走行可能な車両)
クラス2 = 車種: GTV3.0L・3.2L, SPIDER3.0L・3.2L, GT3.2L, 156GTA, 147GTA, 1593.2L, BRERA3.2L
クラス3 = 車種: 156V62.5L, SZ3.0L, RZ3.0L, 75V63.0L, GTV2.0TB, 155Q4, クラス4の車両でファイナルもしくはクロスギアが変更されている車両
クラス4 = 車種: 156TS2.0L, 156JTS2.0L, 147TS1.6L, 147TS2.0L, 155TS2.0L, 145TS, 159JTS2.2L, BRERA2.2L, GT2.2L, 75TS2.0L, GTV2.0L, SPIDER2.0L

注1: 公道を走行される場合は、保安基準に必ず合致する車両のこと。 注2: バランス・OHは可能。 注3: サブコンピューターは認める。
注4: クラス4の車両で、ファイナルギア変更もしくはクロスミッション搭載されている車両はクラス3にて参加。

一般公道を走行される車両は、必ず保安基準に適合していること。 オイル漏れ、水漏れ等無い様、入念にチェックすること。
周回遅れの車両をパスする際には、上位車両は事故の起こらない様、特に気を付けること。 主催者側にて判断した車両は、クラスを変更していただくことがあります。